

令和5年度 事業計画書

社会福祉法人長岡東山福祉会

令和5年度 社会福祉法人長岡東山福社会 事業計画

目次

- ・法人理念
- ・中期経営計画 重点項目
- ・職員の基本人材像

法人全事業所

- ・基本方針
- ・重点項目

1 法人本部総務課

- (1) 事務係
- (2) 総務係

2 本部 健康管理課

- (1) 食事サービス係
- (2) 機能訓練係

3 特別養護老人ホームかつぼ園

- (1) 施設サービス課 1係・2係
 - (2) 施設サービス課 看護係
 - (3) 施設サービス課 短期係（短期入所事業かつぼ園）
 - (4) 在宅サービス課 デイサービスセンターかつぼ園
 - (5) 在宅サービス課 在宅介護支援センターかつぼ園
- ・各事業所活動・行事計画

4 福祉センターふそき

- (1) 高齢者センターふそき
 - (2) 長岡市デイサービスセンターふそき
 - (3) ふそき元気塾（くらし元気アップ事業）
 - (4) 介護プランセンターふそき
 - (5) 長岡市地域包括支援センターふそき
- ・各事業所活動・行事計画

5 ケアセンター花の里かつぼ

- (1) 特別養護老人ホームかつぼ園
 - (2) グループホーム花の里かつぼ
 - (3) 共用型デイサービス花の里かつぼ
- ・各事業所活動・行事計画

6 法人委員会活動目標と活動内容

7 各拠点施設委員会活動目標と活動内容

その他

令和5年度 研修計画

令和5年度 防災訓練計画

社会福祉法人長岡東山福祉会 令和5年度事業目標

令和4年度は、各部署が立案した行動計画を実行するにあたり、情報の共有と発信、事業所の特長を活かしたサービスを提供することを重点項目として掲げ、PDCAサイクルを回すことを意識し取り組みました。また、下半期は5S活動の一環として、整理整頓や業務改革について小さな事項から取り組んだ結果、職員が成果を実感できた取り組みも多くみられました。しかし、急激な価格高騰による経費の増大、新型コロナウイルス感染症発生による稼働率の低下等、収益を確保する難しさも改めて実感した一年でありました。また介護業界を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、当法人も人材確保と育成、他事業所との過当競争等多くの課題が浮き彫りになっております。そのような時代だからこそ、法人にとって職員一人ひとりが要であり、職員の成長が法人の成長に繋がると考えます。この現状を正しく伝え、全ての職員が提供するサービスの意味や目的を理解し、同じ方向を目指して行動することが次年度さらに重要となってきます。

次期介護報酬改定が迫るなか、令和5年度は全体の体制を再考する等、時代のニーズに沿った中期経営計画を立案いたします。地域の皆様と共に歩み必要とされる社会福祉法人として存在する価値を高め、かつ職員の成長も実感できる事業運営を目指してまいります。

【法人理念】

「心地よさの追求」

「私たちは、ご利用者が尊厳と生きがいをもって、その人らしい自立した生活を安心して送れるよう支援します。」

「地域貢献」

「私たちは、ご利用者のご家族や地域社会と密接な連携を図り、質の高い福祉サービスを広く地域全体に提供します。」

【中期経営計画 重点項目】

- I 安定した経営基盤の強化
- II 組織強化
- III 魅力あるサービスの提供
- IV 人材の確保・育成への取組
- V 地域との共存
- VI 長期的な展望にたった施設設備

【職員の基本人材像】

- (1) 法人の理念や使命、ビジョンを理解し実践する職員
- (2) 規則・規程を遵守し、マナーや節度をわきまえる職員
- (3) 何事も使命感と責任感を持って、最後までやり遂げる職員
- (4) 課題（目的）意識を持ち、主体的に行動する職員
- (5) 感謝の心を忘れず、謙虚で素直な職員
- (6) 現状に満足することなく、知識・技術を高め続ける職員
- (7) 地域や法人に対する貢献意識を持ち、行動する職員

1 法人本部総務課

(1) 事務係

【重点項目】

- ① 法人全体の予算統制機能の体制を整えるため、各事業所と情報共有を密に図り、拠点間で統一した予算管理を行います。
- ② 経理規程に沿った運用ができるよう業務の正確性・透明性を図ります。
- ③ 3M5S活動を行い、業務の効率化とコスト削減を実現します。

(2) 総務係

【重点項目】

- ① 各事業所が円滑に事業運営をできるように、建物や設備の適切な維持管理を行うとともに、現場の業務改善に繋がる機器の導入を支援します。
- ② 法人全体の生産性向上の視点から、職員体制の見直し、勤怠管理の適正化に取り組みます。
- ③ 法人が実施する地域貢献活動や事業所の様々な活動を、就労世代に多用な媒体を用いた広報活動や企画により PR し、人材確保に繋がります。

2 法人本部 健康管理課

(1) 食事サービス係

【重点項目】

- ① 他職種との情報共有を強化し、ご利用者個々のカロリー摂取や栄養バランスに配慮した栄養ケアマネジメントを実施します。
- ② ご利用者の「食べる楽しみ」の実現に向けて他職種協働で取り組みます。
- ③ 委託業者と連携を図り、食中毒予防のため食品の衛生管理や備品管理を徹底します。

(2) 機能訓練係

【重点項目】

- ① 日常生活に沿った個々の目標を、ご利用者と全ての職員が共有し個別機能訓練を実践することで、ご利用者の社会参加と生活機能の向上を図ります。
- ② 各事業所の専門職と積極的に意見交換を行うことで、専門職としての知識や技術向上を図るとともに、ご利用者が生活しやすい環境整備を実現します。

3 特別養護老人ホームかつぼ園

(1) 施設サービス課 1・2係

【重点項目】

- ① 円滑な入所受け入れに向けて待機者との繋がりを大切にするとともに、関係機関への情報発信を細目に行い、新規入所者のスムーズな受け入れを実現します。
- ② 個人の尊厳を重視し、自立支援、重度化防止に向けた施設サービス計画に基づき、ご利用者が生活に張り合いを持って過ごせるよう、様々な活動を提供するとともに、環境整備を図ります。
- ③ 職員全員が同じ方向性をもってケアできるよう、情報共有を確実に図ります。
- ④ ICTの推進により、職員の働きやすさの実現や業務改善等を実施します。

(2) 施設サービス課 看護係

【重点項目】

- ① 快適な生活を追求するため、衣食住及び環境を整備し、個々のご利用者の希望に沿った生活が送れるように他職種協働で健康管理に努めます。
- ② ご利用者の尊厳を大切にされた看取りケアを実施するため、ご家族に正しい情報提供を行い揺れ動くご家族の気持ちに寄り添います。

【活動・行事計画】

月	余暇・行事	給食行事
4	お花見ドライブ	選択メニュー コンセプトメニュー
5	おはぎ作り	端午の節句
6	お茶会	コンセプトメニュー
7		七夕献立 土用の丑の日特別献立
8	すいか割り 盆供養	お盆特別献立 夏祭りメニュー
9	敬老会 おはぎ作り	おはぎ作り 敬老会特別献立
10	紅葉ドライブ	体育の日特別献立
11	大運動会	選択メニュー
12		スイーツバイキング クリスマス献立 冬至・年越し
1	新年お楽しみ会	新年会 お正月献立
2	節分	節分献立 コンセプトメニュー
3	春を迎える会 彼岸供養	寿司バイキング ひなまつり献立
その他： 生け花クラブ・書道クラブ・歌謡クラブ・調理クラブ 喫茶かつぼ・すこやかともしび祭り作品づくり 家族会： 4月役員会 5月総会 9月避難訓練立ち合い 6月～11月 特養花華クラブ		

(3) 施設サービス課 短期係（短期入所事業かつぼ園）

【重点項目】

- ① ご利用者の社会性や生活機能向上のため、個々の特性やできることを伸ばし、ご利用者が役割と張り合いをもって生活できる活動を提供します。
- ② ご利用者やご家族に選ばれ、かつ継続的に利用していただくため、個々のニーズや目標を明確にし、それらに沿った具体的なサービス内容等の提案を行います。
- ③ ご利用者が安全、安心してサービスを利用していただけるよう、環境整備を実施します。

【活動・行事計画】

月	余暇・行事		
4	お花見ドライブ		
5	おはぎ作り	ドライブ月間	
6	ドライブ		
7	外食余暇活動		
8	枝豆収穫祭	すいか割り	夏祭り
9	敬老会 フラワーアレンジメント	花火大会	
10	さつまいも収穫祭 秋のミニゲーム大会	外食余暇活動	
11	紅葉ドライブ	さつまいもお菓子づくり	
12	クリスマスイベント しめ縄づくり	クリスマスケーキ作り	
1	新年会	白玉・おしるこ・甘酒作り	
2	節分大会	チョコ菓子作り	
3	ひな祭り（寿司作り）	桜餅作り	
その他：	創作活動	体操	ゲーム大会
	すこやかともしび祭り	作品作り	調理活動

(4) 在宅サービス課 デイサービスセンターかつぼ園

【重点項目】

- ① ご利用者の社会参加や生活機能向上を目的として、他職種が連携し個別活動や機能訓練を充実させます。
- ② 様々な情報媒体により、ご利用者や関係機関が必要とする情報をタイムリーに発信します。
- ③ 認知症ご利用者に対し、統一したケアが実践できるよう、職員間の情報共有の強化を図ります。

【活動・行事計画】

月	余暇・行事
4	お花見ドライブ
5	買い物（とくし丸）
6	フラワーアレンジメント 買物ツアー
7	スイカ割
8	納涼会
9	敬老会
10	秋の大運動会 ハロウィン仮装大会
11	買い物（とくし丸）
12	フラワーアレンジメント クリスマス会
1	新年会
2	節分
3	年度末感謝祭
その他： すこやかともしび祭り作品作り 参加	

（5）在宅サービス課 在宅介護支援センターかつぼ園

【重点項目】

- ① ご利用者の尊厳を守り自立した生活の実現を目指し、楽しみや生きがいをもって在宅での生活が継続できるようなケアプランを作成提案します。
- ② 事業所運営のため収益を確保しつつ、事業の適正運用に努めます。
- ③ 他事業所、他職種のみならず、地域の社会資源となるあらゆるサービスとの連携を強化し、増える認知症や独居高齢者の課題解決を図ります。

4 福祉センターふそき

(1) 高齢者センターふそき

【重点項目】

- ① 高齢者の介護予防を中心とした自主事業の開催を継続するとともに、多世代利用の促進が図れる企画を検討し実施します。
- ② 定期的な広報紙の発行や掲示等の広報活動を強化し、センターを地域に広く周知します。
- ③ 多様な来館者に対応できるよう職員の情報共有を強化するとともに、効率的な運営に向け業務改善を進めます。
- ④ 新しい生活様式を踏まえ、ご利用者が安心して安全に利用できるよう、適切な保守・衛生管理を実施します。

(2) 長岡市デイサービスセンターふそき

【重点項目】

- ① ご利用者個々の目標を踏まえ身体機能や生活意欲が向上する活動を提供し、利用満足度を高めます。
- ② 活動内容やご利用者の状況を効果的に発信することで、選ばれる事業所を目指します。
- ③ 職員間の情報共有を強化するとともに、送迎、記録等業務全般の見直しを行い効率的な運営を実施します。

【活動・行事計画】

月	余暇・行事
4	お花見ドライブ
5	
6	しょうぶ湯
7	
8	ふそき夏祭り
9	長寿を祝う会 買い物ツアー
10	すこやかともしび祭り見学 買い物ツアー 富曾亀コミュニティセンター作品展創作活動
11	創作活動 コミセン文化祭見学
12	クリスマス会 ゆず湯
1	新年を迎える会
2	節分
3	春を迎える会
その他： 誕生会 創作活動 レインボー健康体操の講師派遣 (地域向け自主事業)	

(3) ふそき元気塾（くらし元気アップ事業）

【重点項目】

- ① ご利用者個々の生活意欲が高まる個別目標をご利用者とともに作成し、その達成に向け多様な活動を提供します。
- ② 地域の様々な関係機関と連携を図り PR 活動を強化することで、事業内容の周知を図り、地域全体の介護予防に繋がります。

【活動・行事計画】

月	余暇・行事
4	オリエンテーション お花見ドライブ
5	
6	ヤクルト出前講座
7	ドライブ
8	長岡市出前講座
9	買い物ツアー（道の駅）
10	大運動会 紅葉ドライブ
11	ドライブ
12	フラワーアレンジメント
1	書初め 新年お楽しみ会
2	長岡市出前講座
3	
その他：毎月 運動機能向上プログラム 毎回 認知症予防プログラム 2カ月に1回 口腔機能向上プログラム	

(4) 介護プランセンターふそき

【重点項目】

- ① 地域包括ケアシステムを構築する様々な関係機関、主治医や医療関係者との連携を強化し、居宅でのご利用者が望む生活を支援します。
- ② ご利用者やご家族との信頼関係を強化するため、事業所内の情報共有を図るとともに、困難事例等の検討会を定期的開催し、各職員のスキル向上を目指します。
- ③ 災害等発生時においても、要援護者が不安なく生活できるよう BCP や災害マニュアルにそった支援体制を構築します。

(5) 長岡市地域包括支援センターふそき

【重点項目】

- ① 総合相談支援
高齢者の生活全般に係る相談窓口として、お一人お一人に真摯に対応します。
- ② 権利擁護
増加傾向にある高齢者虐待に迅速に対応できるよう、各関係機関との連携を強化するとともに、

職員の各種制度の理解等を深め、虐待解消、成年後見制度の支援を実践します。

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援

保健・医療・福祉・その他生活支援サービスを含む様々な関係者と連携・協働し、在宅・施設を通じて途切れることのない支援を行います。

地域ごとのニーズや課題に沿った多職種交流会や事例検討会、研修会を実施します。

④ 介護予防マネジメント（指定介護予防支援事業所）

高齢者が自宅で自立した生活を継続できるよう介護予防マネジメントを実施するとともに、委託先居宅介護支援事業所に対しても適正な方針の説明と指導を行います。

5 ケアセンター花の里かつぼ

(1) 特別養護老人ホーム花の里かつぼ

【重点項目】

- ① 安定した事業継続のため、各関係機関をはじめ法人他事業所との連携を密に取り、入所待機者を確保するとともに、円滑な入所を実現します。
- ② ユニットケアの理解を深め、入居者の希望を反映した環境整備や生活支援を実施するとともに、ご家族との繋がりも大切にしたい取組を実践します。
- ③ 新しい生活様式のもと、常に新しい情報や対策を取り入れたBCPやマニュアルとなるよう随時見直し、職員全員が同じ対応ができるよう周知徹底を図ります。
- ④ LIFEの理解を深め、適切な評価、マネジメントを実施します。

【活動・行事計画】

月	余暇・行事	運営推進会議・家族会
4		
5		第1回運営推進会議
6		第2回運営推進会議 (花壇イベント参加)
7	夏祭り	
8		
9	長寿を祝う会 すこやかともしび祭り見学	第3回運営推進会議 (避難訓練参加)
10		第4回運営推進会議 (花壇イベント参加)
11	山本コミセン作品展示会	
12	忘年会	
1		第5回運営推進会議
2		
3		第6回運営推進会議 (活動報告会)
その他：喫茶花の里 体操教室		

(2) グループホーム花の里かつぼ

【重点項目】

- ① 入居者が個々に役割を持ち、楽しみのある自立した生活が送れるような介護プランを立案しサービスを提供するとともに、環境整備を随時評価し転倒等の事故を予防します。
- ② 地域活動を通して地域住民の認知症への理解促進を図るとともに、事業所の特長や活動内容を随時発信し、地域に根付いた施設を目指します。
- ③ 法人内事業所や関係機関への情報発信を積極的に実施し、入居者確保を図ります。

(3) 共用型認知症対応型デイサービス

【重点項目】

- ① 家庭的な環境のもと利用者の状態やニーズに応じたサービスを提供します。
- ② 安定した事業運営のため、各関係機関に事業所の特長を発信し、登録利用者を増やし稼働率を達成します。

【活動・行事計画】

月	余暇・行事	運営推進会議・家族会
4		
5		第1回運営推進会議
6		第2回運営推進会議 (花壇イベント参加)
7	夏祭り	
8		
9	長寿を祝う会 すこやかともしび祭り	第3回運営推進会議 (避難訓練参加)
10		第4回運営推進会議 (花壇イベント参加)
11	山本コミセン作品展示会	
12	忘年会	
1		第5回運営推進会議
2		
3		第6回運営推進会議 (活動報告会)
その他： 喫茶花の里 体操教室 創作活動		

6 法人委員会活動目標と活動内容

(1) 法人危機管理委員会

① 活動目標

法人の様々な危機に対し、その方針や対策を決定する

② 活動内容

- ・法人危機管理体制規程に定める事項
- ・法人の危機防止全般に係ること

(2) 法人 BCP 推進委員会

① 活動目標

BCP（業務継続計画）の運用推進体制を検討、構築する

② 活動内容

- ・BCP の職員への周知と研修に関すること
- ・BCP の事業所間の調整や課題を明確にし、見直しを図る

(2) 法人広報委員会

① 活動目標

様々な媒体を通し、ご利用者やご家族、そして地域、求職者に対し、法人事業所を効果的に PR します。

② 活動内容

- ・法人広報紙の編集・発行に関すること
- ・SNS の運用に関すること
- ・法人内事業所の広報に関すること

(3) 地域貢献実行委員会

① 活動目標

法人の保有する資源を活用し地域貢献事業を実践します。

② 活動内容

- ・介護等に関する知識や技術の地域への還元に関すること
- ・地域のボランティアの育成に関すること
- ・法人職員への地域貢献事業の周知に関すること

(4) 入所検討委員会

① 活動目標

当法人の入所施設の申込者に対し、その事情を考慮し公正に入所順位を決定します。

② 活動内容

- ・入所順位の決定に関すること

(5) 人材育成委員会

① 活動目標

効果的な研修の実施により、職員のスキルアップを目指します。

② 活動内容

- ・研修計画立案と実施内容の検証
- ・キャリアアップ研修の企画、実施

(6) サービス向上委員会

① 活動目標

法人が提供するサービスの平準化と質の向上を目指します。

② 活動内容

- ・法人が提供するサービスの質の向上に関すること
- ・各事業所のマニュアルの整備と見直しに関すること

7 各拠点施設委員会活動目標と活動内容

(1) 防災委員会

① 活動目標

拠点施設で予想されるあらゆる災害の発生防止と災害時の職員やご利用者の人身、財産の保全を図ります。

② 活動内容

- ・拠点ごとに想定される災害への対応を協議
- ・防災計画の立案
- ・訓練や研修の実施
- ・マニュアルの整備

(2) 感染対策委員会

① 活動目標

拠点施設の感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための対策を検討、実施します。

② 活動内容

- ・感染症、食中毒まん延防止の指針に定める事項

(3) 労働衛生委員会

① 活動目標

職員の職場環境の安全確保と健康の保持増進を図ります。

② 活動内容

- ・労働安全衛生法に規定される事項

(4) 食事サービス委員会

① 活動目標

利用者一人ひとりの状態にあった食事を可能な限り経口摂取いただけるような食事サービスを提供します。

② 活動内容

- ・献立に対するご利用者の意見を把握し反映させる（部署の意見を報告）
- ・行事食や季節を感じる食事の検討
- ・衛生管理に関する事項
- ・嗜好調査の実施と協力

(5) リスク管理委員会

① 活動目標

サービス提供時に発生した事故等の原因を分析し、発生を防止します。

② 活動内容

- ・ヒヤリハット及びアクシデント等の集計と発生に至るまでの分析
- ・再発防止と対策の検討と評価
- ・職員の啓蒙活動

(6) 身体的拘束等適正化委員会（高齢者虐待防止委員会）

① 活動目標

利用者の人権の擁護と虐待防止の観点から、身体的拘束等や虐待発生または再発の防止を実践します。

② 活動内容

- ・身体拘束等適正化のための指針に定める事項
- ・高齢者虐待防止のための指針に定める事項

(7) 園芸委員会

① 活動目標

利用者・地域・職員の交流や心地よい環境づくりのため、花に係る活動を実践します。

② 活動内容

- ・拠点施設の花壇整備の検討
- ・利用者、地域、職員の花活動を通しての交流の実践

(8) 痰の吸引等安全対策委員会

① 活動目標

ガイドラインに沿い、他職種連携のもと安全な痰の吸引を実施します。

② 活動内容

- ・適切な安全管理体制の構築
- ・ヒヤリハット事例の記録と評価
- ・安全な痰の吸引の実現のための研修の実施

【令和5年度 研修計画】

1. テーマ別研修

開催月	研修項目	研修目的	クラス別	研修目標	対象者	講師等
4月	法人の理解	法人全体が一体となって事業運営を実践する。	全等級	法人理念や事業計画を理解する	全職員	本部職員
	BCP			BCPの概念や基本について理解する。		
5月	感染対策研修① (BCP)	施設(事業所)で食中毒や感染症の発生が予防され、ご利用者が安心安全な生活送ることができるように、感染対策の基本を習得する。	J1	食中毒や感染性全般の発生原因及び平時の予防対策等を理解する。②食中毒発生時の初動対応を習得する。	全職員	感染対策委員会 /栄養士
			J2			
6月	身体的拘束適正化・高齢者虐待防止研修①	人としての尊厳を尊重しご利用者に接することができる職員になるため、知識や心構えを習得する。	J1	身体的拘束適正化、高齢者虐待防止の法令並びに指針及び不適切なケアを理解する。	全職員	身体拘束等適正化委員会
			J2			
6月	リスク管理研修①	リスク管理を徹底した事業所や職場を実現するため、リスク管理の基本を習得する。	J1	身体的拘束適正化、高齢者虐待防止の法令並びに指針を理解し、不適切なケアについて振り返り改善策を提案できる。	全職員	リスク管理委員会
			J2			
7月	個人情報とプライバシー保護	職員一人ひとりが自覚をもって個人情報を取り扱うことができるようになるため、知識を習得する。	J1	リスクマネジメントの基本的考え方を理解する。ヒヤリハット及び事故報告書等の書類作成ができる。	全職員	係長/リーダー
			J2			
8月	救急救命講習	心肺蘇生法、AEDの取扱い方法を理解し、緊急時対応を実践できるよう技術を習得する。	J1	介護施設のリスクマネジメントの重要性を理解し、課題を考え改善案を提案できる。	全職員	看護職員
			J2			
9月	感染対策研修② (BCP)	新型コロナウイルス感染症発生時に適切な対応が行え、感染拡大を最小限に抑えることができるよう、実地訓練を行う。	J1	・感染発生時の初動対応ができる。予防具の適切な取り扱い、脱着ができ、かつ上司や先輩の指示を理解し行動できる。	全職員	感染対策委員会
			J2			
10月	キャリアアップ研修I	ご利用者に対して自立支援を視野にいたしたサービスを提供する視点を養う。	全等級	接遇マナーの習得 ご利用者にとって最適な環境整備を学ぶ。	全職員	本部職員
11月	リスク管理研修②	リスク管理を徹底した事業所や職場を実現するため、危険予知に対する知識技術を向上させる。	J1	介護事故の発生を予防するため、実際に起きた事例等を本に具体的に防ぐための対応策について習得する。	介護に係わる全職員	リスク管理委員会
			J2			
12月	身体的拘束適正化・高齢者虐待防止研修②	人としての尊厳を尊重しご利用者に接することができる職員になるため、知識技術を向上させる。	J1	後輩等にリスク管理の重要性や危険予知を伝達し、具体的な対策を立案できる。	全職員	身体拘束等適正化委員会
			J2			
1月	認知症ケア研修	認知症を正しく理解し、ご利用者の特性をつかみ、その人らしい生活を支援することができるようになるため、認知症ケアの基本及び対応策を習得する。	J1	日頃の職務を振り返り、課題を明らかにし解決する。	全職員	係長/リーダー
			J2			
2月	褥瘡予防	褥瘡発生を予防や発生時の対応を学び、ご利用者の安楽な生活を実現できる。	J1	ご利用者の尊厳を守る視点で職務上の課題解決を図り、改善策を提案し実践する。	加算算定事業所の介護に係わる全職員	各拠点の担当者
			J2			
3月	メンタルヘルス研修	介護に携わる職員として、自身の心身の健康を保つ取り組みを学ぶ。	J1	褥瘡の発生の要因、予防法などについての理解しケアを実践する。	加算算定事業所の介護に係わる全職員	各拠点の担当者
			J2			
3月	メンタルヘルス研修	介護に携わる職員として、自身の心身の健康を保つ取り組みを学ぶ。	J1	褥瘡ケア計画に沿って早期発見、予防対応が他職種協働で実践できる。	全職員	労働衛生委員会
			J2			
3月	メンタルヘルス研修	介護に携わる職員として、自身の心身の健康を保つ取り組みを学ぶ。	J1	職員自らの心身の不調に気付くことができるとともに、日頃の健康管理について習得する。	全職員	労働衛生委員会
			J2			

2 職能別研修

【研修目的】 理念達成のため、専門職としての知識技術を向上させる。

開催月	研修項目	具体的内容
9 月 ～ 12 月	相談員研修	相談援助業務に係る知識や技術の向上
	介護支援専門員研修	ケアマネジメントに係る知識や技術の向上(入所系/居宅系)
	看護職研修	福祉施設の看護職員としての知識や技術の向上
	介護職研修	介護技術向上について
	栄養士研修	栄養ケアマネジメントに関すること
	事務員研修	会計業務に関すること
	機能訓練指導員研修	機能訓練全般に係る知識や技術の向上

3 キャリアアップ研修

月	項目	研修h内容	対象者
6	キャリアアップ研修Ⅱ	役職者としての役割を理解し、チーム作りのヒントを学ぶ	係長・リーダー
7	キャリアアップ研修Ⅱ	損益状況等数字からみえる課題に気付く視点を学ぶ	係長・リーダー
8	キャリアアップ研修Ⅱ	ハラスメント対応を学ぶ	係長・リーダー
10	キャリアアップ研修Ⅰ	接遇マナー及び事業所の環境整備の視点を学ぶ	全職員
3	キャリアアップ研修Ⅰ	マインドフルネス活用法	新採用者

4 人事考課研修

月	項目	研修目標・内容	対象者
6	考課者研修1	R4年度の振り返り、課題を確認する	考課者
7	新任考課者研修	考課の留意点、流れを理解する	新考課者
8	新採用自己考課研修	人事考課制度を理解する	新採用者
11	考課者研修2	考課の留意点、公正な考課の視点を学ぶ	考課者
	自己考課研修	自己考課表の書き方を理解する	全職員
1	考課者研修3	フィードバック面接の手法を学ぶ	考課者

5 自己啓発

- 公休調整等の配慮
- 外部研修の情報提供
- 模擬試験案内
- 受験時の勤務配慮(特別休暇取得)

特別養護老人ホームかつぼ園 防災計画

重点項目

1. 災害対応マニュアルの周知
2. 日常の予防体制の確立
3. 有事の際に備えて訓練の実施とスキルアップ
4. 地域・近隣施設との連携強化
5. 自然災害 BCP の熟知

月	訓練項目	訓練要点	目的	担当	日時
4月	新入職員防災知識の習得	1. 新入職員防災知識の習得	基礎知識を学び平時より防災に努め有事の際には素早く対応出来るようにする		
5月	総合防災訓練（土砂想定）花の里と合同避難訓練	1. 情報収集、伝達 2. 花の里かつぼと合同避難訓練	1. 水害時の情報収集及び共有 2. 花の里からの避難者受入れ方法等の確認		
6月	日中想定避難訓練	1. 火災発生時から避難完了までの一連活動の熟知 2. 通所介護利用者の誘導	火災発生時の初動対応から避難誘導までの一連の動作確認		
7月	非常招集訓練（夜間）	1. 緊急連絡訓練（伝達時間と系統図の検証）	有事の際職員への情報及び招集伝達の確認		
	防災教育	1. 日中想定避難訓練録画振り返り学習	課題・修正箇所の確認と共有を図る		
8月	総合防災訓練（夜間想定）	1. 火災発生から避難完了までの一連活動の熟知 2. 非常招集隊員の応援（時間模擬受付） 3. 消防署及び地域住民の立会	夜間配置人数による避難・指示・連携の確認		
9月	消防設備等教育・基本訓練	1. 消火器の操作と実放水消火	消火器の適切な操作方法を学び、迅速に使用できるようにする		
10月	避難訓練（地震想定）	1. 地震発生時の初動活動 2. 地震発生時の安全確保と避難誘導	地震発生時の初動対応、確認作業を行えるようにする		
11月	消防設備教育	1. 消火栓の操作及び取扱いの熟知	消火栓の適切な使用方法を学び発生時に迅速に使用できるようにする		
12月	防災教育	1. かつぼ園 BCP についての説明	BCP の理解		
1月	非常招集訓練（夜間）	1. 緊急連絡訓練（伝達時間と系統図の検証）	有事の際職員への情報及び招集伝達の確認		
2月	防災教育	1. 福祉施設の防災の理解（ビデオ学習会） 2. 原子力災害の対応について	原子力災害時の適切な行動・避難を行えるようにする		
3月	防災委員会防災知識振り返り	マニュアル変更箇所の確認等読み合わせ	今年度の反省から修正を行い次年度につなげる		

福祉センターふそき 防災計画

重点項目

1. 災害対応マニュアルの周知
2. 日常の予防体制の確立
3. 有事の際に備えて訓練の実施とスキルアップ
4. 地域・近隣施設との連携強化
5. 自然災害 BCP の熟知

月	訓練項目	訓練要点	目的	担当	日時
4月	新人職員防災知識の習得 防災委員会防災知識の習得	1. 新人職員 防災の基礎知識の習得 2. 防災委員会 設備の取扱いの習得	拠点施設の防災設備及び機器の基本操作が理解できる		
5月	非常時連絡伝達訓練	1. 緊急連絡訓練 (緊急連絡網による非常事項伝達)	緊急時の連絡を迅速かつ正確に行うことができる		
6月	洪水浸水想定避難訓練	1. 指示系統・河川増水情報収集と伝達体制の確立 2. 避難準備から階上避難までの一連行動の熟知	洪水浸水災害時の避難行動が行える		
7月	映像教育	1. 映像視聴による防災・避難の学習	映像視聴により防災意識を高める		
8月	初期消火基本訓練	1. 消火器の操作と実放水消火の実演	初期消火の行動ができる		
9月	総合防災訓練	1. 火災発生から避難完了までの一連行動の熟知 2. 消防署通報訓練	火災発生時適切な行動ができる		
10月	非常時連絡伝達訓練	1. 緊急連絡訓練 (緊急連絡網による非常事項伝達)	緊急時の連絡を迅速かつ正確に行うことができる		
11月	地震想定避難訓練	1. 地震発生時初動活動 2. 消防署通報訓練	地震災害時の避難行動が行える		
12月	防災基礎教育	1. 自然災害 BCP の熟知	自然災害 BCP マニュアルを理解する		
1月	災害行動教育	1. 福祉施設の防災の理解 (ビデオ学習会) 2. 原子力災害の対応	福祉施設の防災の理解。原子力災害時の行動ができる		
2月	イメージトレーニング	1. 火災発生から避難完了までの一連行動の確認	災時に適切な行動が行える		
3月	防災体制の振り返り	1. 防災委員会によるマニュアルの点検と周知	次年度に向けての準備を行う		

ケアセンター花の里かつぼ 防災計画

重点項目

1. 災害対応マニュアルの周知
2. 日常の予防体制の確立
3. 有事の際に備えて訓練の実施とスキルアップ
4. 地域・近隣施設との連携強化
5. 自然災害 BCP の熟知

月	訓練項目	訓練要点	目的	担当	日時
4月	新入職員防災知識の習得 防災委員会防災知識の習得	1. 新入職員防災基礎知識の習得 2. 防災委員会 設備の取扱いの習得	拠点施設の防災設備及び機器の基本操作が理解できる。		
5月	総合防災訓練（土砂想定）花の里と合同避難訓練	1. 情報収集、伝達 2. 花の里かつぼと合同避難訓練	1. 水害時の情報収集及び共有 2. 花の里からの避難者受入れ方法等の確認		
6月	日中想定避難訓練	1. 火災発生時から避難完了までの一連活動の熟知 2. 通所介護利用者の誘導	火災発生時の初動対応から避難誘導までの一連の動作確認		
7月	非常招集訓練（夜間）	1. 緊急連絡訓練（伝達時間と系統図の検証）	有事の際職員への情報及び招集伝達の確認		
	防災教育	1. 日中想定避難訓練録画振り返り学習	課題・修正箇所の確認と共有を図る		
8月	総合防災訓練（夜間想定）	1. 火災発生から避難完了までの一連活動の熟知 2. 非常招集隊員の応援（時間模擬受付） 3. 消防署及び地域住民の立会	夜間配置人数による避難・指示・連携の確認		
9月	消防設備等教育・基本訓練	1. 消火器の操作と実放水消火	消火器の適切な操作方法を学び、迅速に使用できるようにする		
10月	避難訓練（地震想定）	1. 地震発生時の初動活動 2. 地震発生時の安全確保と避難誘導	地震発生時の初動対応、確認作業を行えるようにする		
11月	消防設備教育	1. 消火栓の操作及び取扱いの熟知	消火栓の適切な使用方法を学び発生時に迅速に使用できるようにする		
12月	防災教育	1. かつぼ園 BCP についての説明	BCP の理解		
1月	非常招集訓練（夜間）	1. 緊急連絡訓練（伝達時間と系統図の検証）	有事の際職員への情報及び招集伝達の確認		
2月	防災教育	1. 福祉施設の防災の理解（ビデオ学習会） 2. 原子力災害の対応について	原子力災害時の適切な行動・避難を行えるようにする		
3月	防災委員会防災知識振り返り	マニュアル変更箇所の確認等読み合わせ	今年度の反省から修正を行い次年度につなげる		